

貧血管理システム T-BEST による ESA 至適投与量の検討

医) 社団つばさ つばさクリニック

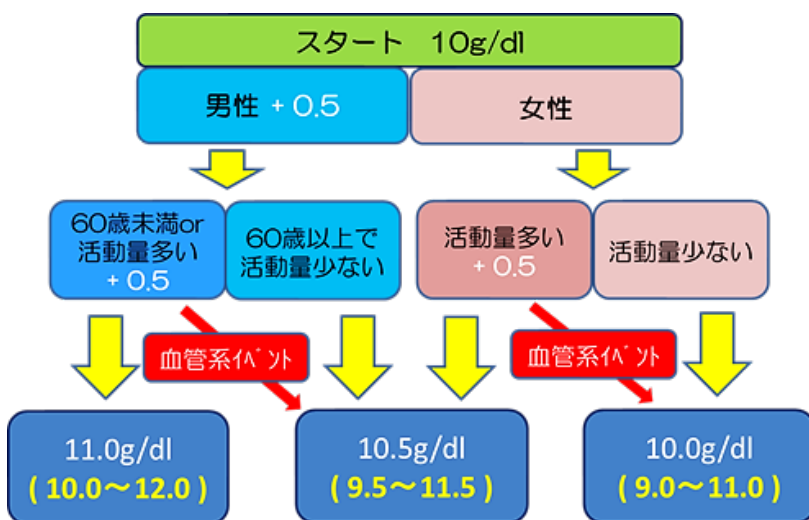
○浅沼 輝男 内田 広康 鈴木 浩太 横関 美枝子

大山 恵子 諸見里 仁 大山 博司

【はじめに】JSDT ガイドラインによる Hb 値管理目標値は上下限の幅が 1g/dl と狭く、ESA 量変更回数を増加させる大きな要因となっており、更にこれが Hb 変動を増強させていると考えられる。そこで当院では 2011 年 8 月より、オリジナルの Hb 値管理システム T-BEST (Tubasa Best ESA Tailormade) により、個々の性別・年齢・活動量・脳心血管系イベント及び VA を考慮した Hb 値管理を行った。

【方法】基本 Hb 値を 10g/dl とし、男性+0.5 g/dl、60 歳未満の男性もしくは活動量の多い男女+0.5 g/dl、血管系イベント有り-0.5 g/dl で求めた目標 Hb 値に対し、±1.0 g/dl の管理域を設定した。また T-BEST 導入時の ESA 投与量は、ESA resistance index の概念を基に一年間の総 ESA 量と平均 Hb 値より算出を行い、7 段階のスケールにより管理した。

目標 Hb 値決定フロー



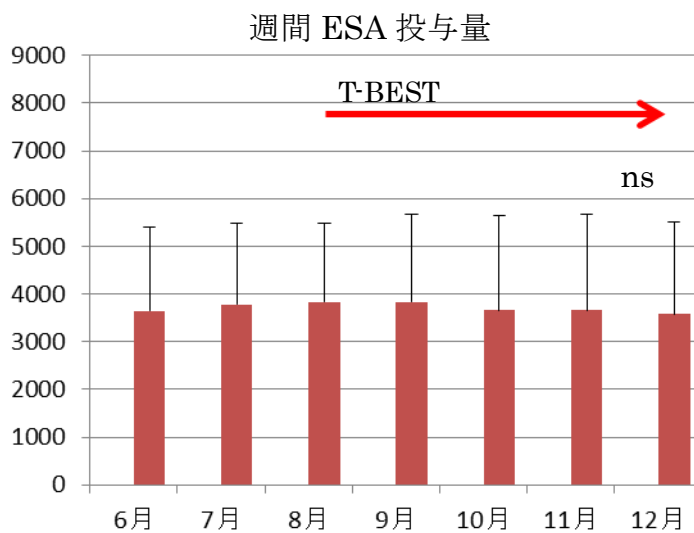
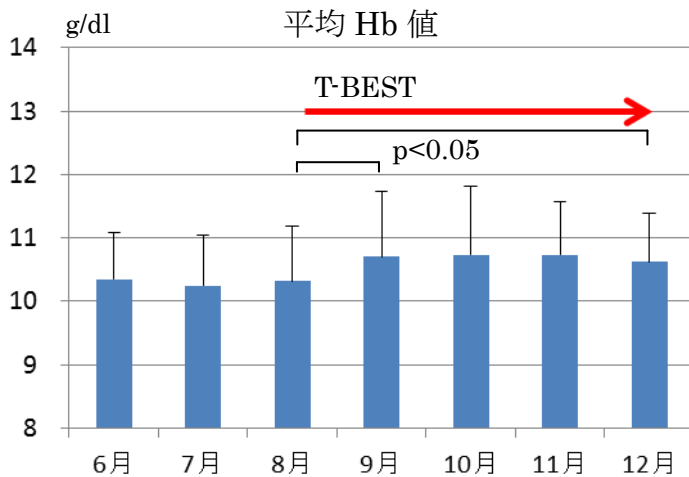
ESA スケール

- ① Epoβ 9000 単位 (3000-3000-3000) /w
- ② Epoβ 6000 単位 (1500-1500-3000) /w
- ③ DP 40μ/2w
- ④ DP 30μ/2w
- ⑤ DP 20μ/2w
- ⑥ DP 15μ/2w
- ⑦ DP 10μ/2w

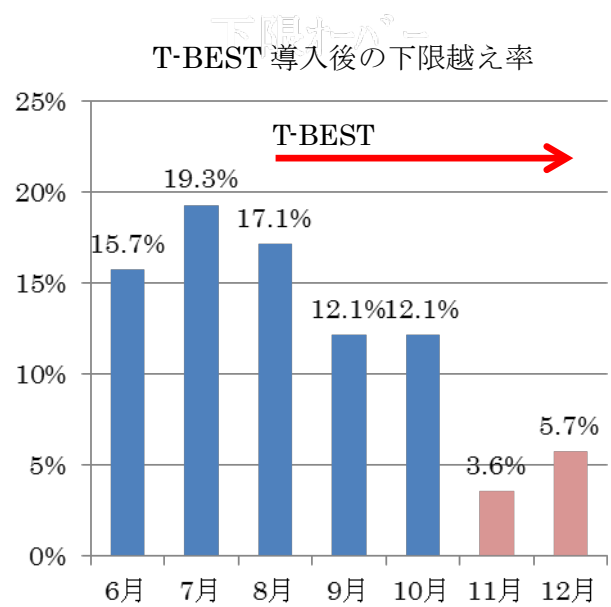
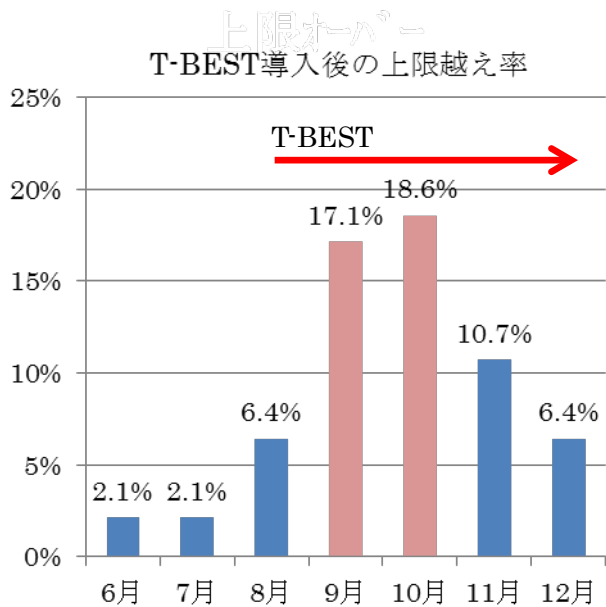
Epo β : DP = 250 : 1

【対象】 当院で1年以上安定した維持透析施行中の患者84名中、ESA使用中の患者62名。

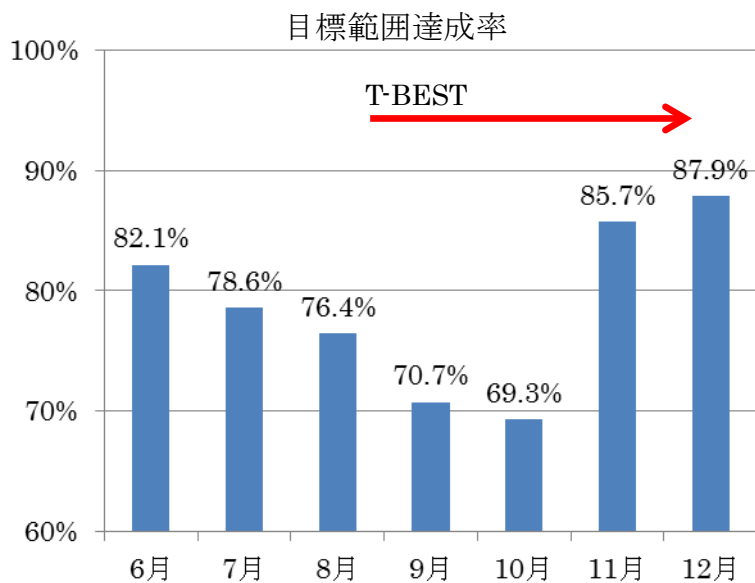
【結果1】 T-BEST導入後、平均Hb値は有意に上昇し、ESA投与量に変化は無かった。



【結果2】 T-BEST導入直後の2か月間は上限越えが増加し、3ヶ月目以降は下限越えが減少した。



【結果3】目標範囲達成率は導入前の平均80.4%から3ヶ月目は85.7%、4ヵ月目は87.9%と増加した。



【結語】T-BESTは目標Hb値及びESA投与量が一貫して決定でき、短期間ではあるが目標Hb値達成率が上昇した。今後は更に長期に亘りHb変動について観察を続けたい。